令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術

教　科：芸術　　科　目：美術　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：	1組	人見	2組	人見	3組	人見	4組	人見	5組	人見	6組	人見
使用教科書：	高校生の美術１（日本文教出版）											

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	芸術における幅広い表現と手法を学び、創作・研究開発の場面において応用できる技能を身に着ける
【思考力、判断力、表現力等】	社会の中にある様々な創作と表現の意図を汲み取り、自分なりに評価し課題に対する答えを表現する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】	芸術が生まれる背景に何があるのか、社会の中で何が求められるのかを考え、積極的に自分の表現として昇華する姿勢を育てる

科目　美術　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵画や造形等の基礎的な手法、制作工程を習得し、創作・研究開発の場面において応用できる技能を身に着ける	様々な美術作品の裏にある意図や動機、背景を汲み取って自分なりに評価し、課題に対する答えを表現する力を養う	美術が人にとって何故必要なのか、社会の中でどのように使われているのかに関心を持ち、課題解決への手段として積極的に表現をする姿勢を育てる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 1 鉛筆デッサン「手と道具」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	鉛筆の基本的な削り方から形体の描き方を学び、課題では自分の手をモチーフとして正確に写し取る	鉛筆デッサンの基礎					削り方やグラデーション表現等、基本的な鉛筆の使い方を習得しているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	鉛筆の種類や特徴等を把握し、モチーフとなる物の形体をよく観察して正確に写し取る						自分の目を通して物体を見つめ、形体や陰影の変化等を思い込みではなく冷静に観察して描写しているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	自らの鉛筆の表現の幅を広げ、形の持つ特徴を正確にとらえてどのように絵にするかを探求する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単元 2 水彩「風景画」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	水彩絵の具の特徴を生かした表現手法を知り、身近な風景を使って色彩で世界を表現する	水彩絵の具の基礎、風景探し					風景の特徴をつかみ取り、的確な写生と自然な色の重なりができているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	水彩の淡さを活かし、風景の中にある色彩をつかみ取って的確に色を置く	教科書等					風景の中の色を注意深く観察し、必要である色を選び取って描写できているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	絵具の奥深さを再認識すると共に、目に映る世界から的確に色を捉えることを意識する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	定期考査（第１学期中間考査）/返却と解説										
	単元 3 デザイン「CDジャケット」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	デザインの概要を学んでシンボルマーク制作の演習をし、課題では好きな楽曲からイメージを広げたCDジャケットを制作する	デザイン概要・演習、CDジャケット制作					デザインの意味を理解し、纏まりのあるマークになっているか。イラストとして完成されたジャケットデザインになっているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	日常の中にあるデザインを再発見し、資料や手法等を用いながら、選んだ楽曲の世界観を広げて絵にまとめる	教科書等					独創的なマークを作れているか。想像力を広げて楽曲のイメージを効果的に表現できているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	世の中にある様々なデザインに目を向けてその役割を理解し、形のないものを自分の表現でデザインに再構築する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単元 4 デザイン「CDジャケット」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	デザインの概要を学んでシンボルマーク制作の演習をし、課題では好きな楽曲からイメージを広げたCDジャケットを制作する	デザイン概要・演習、CDジャケット制作					デザインの意味を理解し、纏まりのあるマークになっているか。イラストとして完成されたジャケットデザインになっているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	日常の中にあるデザインを再発見し、資料や手法等を用いながら、選んだ楽曲の世界観を広げて絵にまとめる	教科書等					独創的なマークを作れているか。想像力を広げて楽曲のイメージを効果的に表現できているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	世の中にある様々なデザインに目を向けてその役割を理解し、形のないものを自分の表現でデザインに再構築する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	定期考査（第１学期期末考査）/返却と解説										

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術

教　科：芸術　　科　目：美術　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：	1組	人見	2組	人見	3組	人見	4組	人見	5組	人見	6組	人見
使用教科書：	高校生の美術１（日本文教出版）											

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	芸術における幅広い表現と手法を学び、創作・研究開発の場面において応用できる技能を身に着ける
【思考力、判断力、表現力等】	社会の中にある様々な創作と表現の意図を汲み取り、自分なりに評価し課題に対する答えを表現する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】	芸術が生まれる背景に何があるのか、社会の中で何が求められるのかを考え、積極的に自分の表現として昇華する姿勢を育てる

科目　美術　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵画や造形等の基礎的な手法、制作工程を習得し、創作・研究開発の場面において応用できる技能を身に着ける	様々な美術作品の裏にある意図や動機、背景を汲み取って自分なりに評価し、課題に対する答えを表現する力を養う	美術が人にとって何故必要なのか、社会の中でどのように使われているのかに関心を持ち、課題解決への手段として積極的に表現をする姿勢を育てる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	単元 5　塑像「お面制作」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	粘土塑像の技術を活かして、芯と針金を使った立体表現としてのお面を制作する	芯作り、紙粘土でお面制作					全体の纏まりや量感が造形物として完成度の高い仕上がりになっているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	お面にするテーマを探し、お面を立体として捉え計画を立てて造形していく	教科書等					粘土の表現を探求しつつ、独創的なお面として造形できているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	お面の意図や意匠を学ぶと共に、存在感や生命感を生み出す造形の奥深さを理解する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単元 6　塑像「お面制作」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	粘土塑像の技術を活かして、芯と針金を使った立体表現としてのお面を制作する	芯作り、紙粘土でお面制作					全体の纏まりや量感が造形物として完成度の高い仕上がりになっているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	お面にするテーマを探し、お面を立体として捉え計画を立てて造形していく	教科書等					粘土の表現を探求しつつ、独創的なお面として造形できているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	お面の意図や意匠を学ぶと共に、存在感や生命感を生み出す造形の奥深さを理解する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	定期考査（第２学期中間考査）/返却と解説										
	単元 7　塑像「お面制作」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	粘土塑像の技術を活かして、芯と針金を使った立体表現としてのお面を制作する	芯作り、紙粘土でお面制作					全体の纏まりや量感が造形物として完成度の高い仕上がりになっているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	お面にするテーマを探し、お面を立体として捉え計画を立てて造形していく	教科書等					粘土の表現を探求しつつ、独創的なお面として造形できているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	お面の意図や意匠を学ぶと共に、存在感や生命感を生み出す造形の奥深さを理解する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単元 8 コラージュ「物語の絵」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	新聞やチラシなど身の回りから使える素材を集め、構成して一枚の絵を作り上げる	スクラップ集め、貼り付け					スクラップの色形を活かして効果的に配置し、纏まりのある一枚の絵になっているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	テーマから想像力を膨らませ、絵にするために素材の色や切り取る形を考え、貼り付ける位置を工夫する	参考作品					素材の特徴や意外性を創作に盛り込み、独創的な表現となっているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	画材ではなく身の回りにあるもので作ることで、絵画表現の奥深さを意識する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	定期考査（第２学期期末考査）/返却と解説										

令和 8 年度　年間授業計画　教科 芸術　科目 美術

教　科：芸術　　科　目：美術　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：	1組	人見	2組	人見	3組	人見	4組	人見	5組	人見	6組	人見
使用教科書：	高校生の美術１（日本文教出版）											

教科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	芸術における幅広い表現と手法を学び、創作・研究開発の場面において応用できる技能を身に着ける
【思考力、判断力、表現力等】	社会の中にある様々な創作と表現の意図を汲み取り、自分なりに評価し課題に対する答えを表現する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】	芸術が生まれる背景に何があるのか、社会の中で何が求められるのかを考え、積極的に自分の表現として昇華する姿勢を育てる

科目　美術　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵画や造形等の基礎的な手法、制作工程を習得し、創作・研究開発の場面において応用できる技能を身に着ける	様々な美術作品の裏にある意図や動機、背景を汲み取って自分なりに評価し、課題に対する答えを表現する力を養う	美術が人にとって何故必要なのか、社会の中でどのように使われているのかに関心を持ち、課題解決への手段として積極的に表現をする姿勢を育てる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期	単 元 9　木彫「木彫り看板」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	木彫・木工の技術を道具の使い方から習得し、木の持つ特性を学びながら板材で看板を制作する	道具演習、木材カット、看板制作					木目を生かしたレリーフ彫刻として美しく彫り上げられているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	平面ではなく立体であることを認識し、背面まで想像できるように形を彫りこんでいく	教科書等					平面的な表現にならないように意識し、テーマとしたものを素材から浮き上がらせることができているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	看板という日用品を作りながら素材の持つ味わいを活かすよう意識する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単 元 10　木彫「木彫り看板」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	木彫・木工の技術を道具の使い方から習得し、木の持つ特性を学びながら板材で看板を制作する	道具演習、木材カット、看板制作					木目を生かしたレリーフ彫刻として美しく彫り上げられているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	平面ではなく立体であることを認識し、背面まで想像できるように形を彫りこんでいく	教科書等					平面的な表現にならないように意識し、テーマとしたものを素材から浮き上がらせることができているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	看板という日用品を作りながら素材の持つ味わいを活かすよう意識する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単 元 11　木彫「木彫り看板」	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	○				次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	4
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	木彫・木工の技術を道具の使い方から習得し、木の持つ特性を学びながら板材で看板を制作する	道具演習、木材カット、看板制作					木目を生かしたレリーフ彫刻として美しく彫り上げられているか				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	平面ではなく立体であることを認識し、背面まで想像できるように形を彫りこんでいく	教科書等					平面的な表現にならないように意識し、テーマとしたものを素材から浮き上がらせることができているか				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	看板という日用品を作りながら素材の持つ味わいを活かすよう意識する						上記の事について、積極的に完成にむけて集中して取り組めているか				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項					【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材					【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人１台端末の活用（場面）					【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説										